

江北地区デマンド型交通運行事業について江北まちづくり会からの補足説明

- ・ NPO法人 えべつ江北まちづくり会の事務局長を務めております、菅原と申します。よろしくお願い申し上げます。
- ・ 事務局から、江北地区デマンド型交通運行事業に関しまして説明がありましたが、事業主体として補足させていただきます。
- ・ 平成30年12月に、皆様にご理解をいただき、山崎自動車工業様と連携して、江北地区デマンド型交通の運行を開始いたしました。
- ・ タクシー事業者によるデマンド型交通の運行は、江別市内では初めての取り組みであり、また、広大な地域をカバーする運行について、やってみなければ分からない部分が多い中、実証運行というかたちで始めたものであります。
- ・ その後、運行実績を重ねる中で、住民アンケートの結果や、利用者あるいは自治会から寄せられる意見、また、山崎自動車工業様の受付や運転手の方の意見なども踏まえながら、利便性向上や利用促進を図るための検討を行い、令和2年4月に運行制度の見直しを行ったところでございます。
- ・ しかしながら、新型コロナウイルス感染症が発生し、高齢者が外出を控える日々が続いたこともあり、次の運行見直しを検討することが難しく令和3年度は同様の制度で実証運行を継続させていただきました。
- ・ 今回、4月からの正式運行を目指し、再び住民アンケートを実施し、その

結果や利用者及び自治会から寄せられる意見等に基づき、制度に修正を加え利便性の向上を図りたいと考えております。

- ・また、実証運行から正式運行への移行に伴い、運行事業者である山崎自動車工業様にも乗合旅客運送事業の許可を取得していただき、今後ともご協力いただける予定でございます。
- ・私ども、えべつ江北まちづくり会としましては、今後もこの事業を持続させて行くためには、デマンド型交通という性格を十分に踏まえながら、効率的で利用しやすいものへ見直しをして行くことが大事だと、考えております。正式運行に移行いたしますが、今後もアンケートや利用者の意見を基に定期的に制度設計に変更を加え、効率性や利便性が上がるよう努力していきたいと考えております。
- ・4月以降の当運行事業の実施について、皆様にご同意いただきたく、ご協議のほど、よろしくお願い申し上げます。

以上